

2022年12月27日

各位

会社名 株式会社 東京通信
 代表者名 代表取締役社長CEO 古屋 佑樹
 (コード番号：7359 東証グロース市場)
 問合せ先 取締役 CFO 赤堀 政彦
 (TEL. 03-6452-4523)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月31日に公表した業績予想を修正いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2022年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	EBITDA (※2)	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,300	396	10	10	△140	△28.35
今回修正予想(B)	5,000	296	△75	△60	△230	△46.56
増減額(B-A)	△300	△100	△85	△70	△90	
増減率(%)	△5.7	△25.2	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	4,731	707	465	424	202	40.99

※1. 2022年12月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。

※2. EBITDA=営業利益+のれん償却費+減価償却費

2. 修正の理由

インターネットメディア事業において、「draw flights」がApp Store(国内・無料ゲーム)にて第1位にランクインするなど、ヒット作となるハイパーカジュアルゲームアプリが出ているものの、2022年12月期第4四半期時点で2020年後半から2021年にかけて世界的なヒットを記録したハイパーカジュアルゲームアプリ「Save them all」に匹敵する業績貢献を見込めないことから、前回発表予想から売上高270百万円減、営業利益85百万円減を見込んでおります。

プラットフォーム事業において、2022年8月4日公表の『推し活×メッセージアプリ「B4ND」リリース予定のお知らせ』にある「B4ND」に関して、芸能プロダクションへのヒアリングによりアプリケーション

ンの追加開発を実施したことに伴いリリース時期を再調整したため、前回発表予想から売上高 30 百万円減を見込んでおります。なお、これに伴う営業利益に関しましては、今期の計画に見込んでいなかったことと人的リソースを他サービスと併用していたため、変動はありません。

また、ヘルステックアプリ「OWN.」に関連するソフトウェア資産について、サービスの立ち上がりが遅れ、当初の計画値から乖離していることから、2022 年 12 月期に減損損失 44 百万円を特別損失として計上する見込みであります。なお、リリース後、ユーザーは順調に増加しており、国内 No. 1 のヘルステックアプリを目指して、引き続き事業を継続してまいります。

以上を踏まえ、売上高 5,000 百万円（前回発表予想 5,300 百万円）、E B I T D A 296 百万円（前回発表予想 396 百万円）、営業損失 75 百万円（前回発表予想 営業利益 10 百万円）、経常損失 60 百万円（前回発表予想 経常利益 10 百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失 230 百万円（前回発表予想 当期純損失 140 百万円）に通期連結業績予想を修正いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響については、業績に与える影響は軽微であると判断しております。今後も業績に与える影響を注視し、修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

また、上記見通しは、現時点で入手可能な情報に基づいて作成をしたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. 今後の見通し

2023 年 12 月期第 1 四半期において、当社の今後の成長に向け策定した定量計画を中期経営計画あるいは事業計画及び成長可能性に関する事項の更新にて公表する予定です。

以上